

— 推進工法の地中支障物問題を解決 —

DO-Jet工法® DO-Jet Method®

DO-Jet工法

Double Object-Jet Method

小口径 $\phi 800 \sim \phi 1350\text{mm}$



進化する「DO-Jet工法」

特徴

すべてマシンから対応！

① 地上対応ゼロ

- ・ 前方探査
- ・ 超高圧地盤改良
- ・ 切断・除去

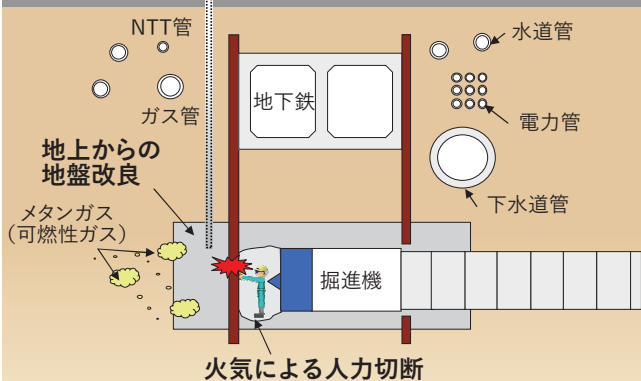
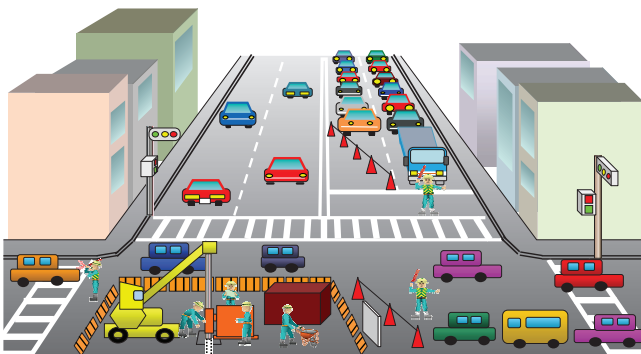
② 地盤への影響最小限

- ・ 探査材、地盤改良材、切断材がすべてゲル化

③ 未確認支障物への新たな対応

“「DO-Jet 工法」支障物保険方式”

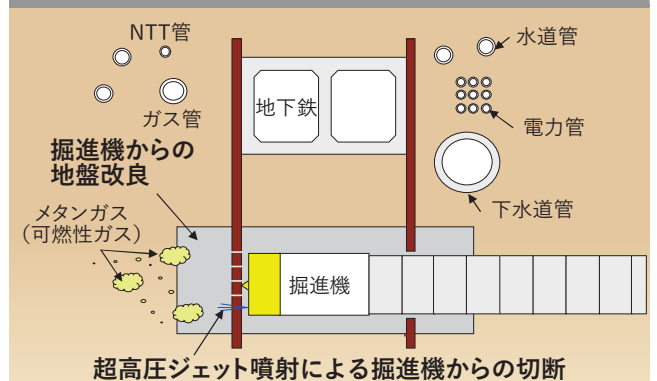
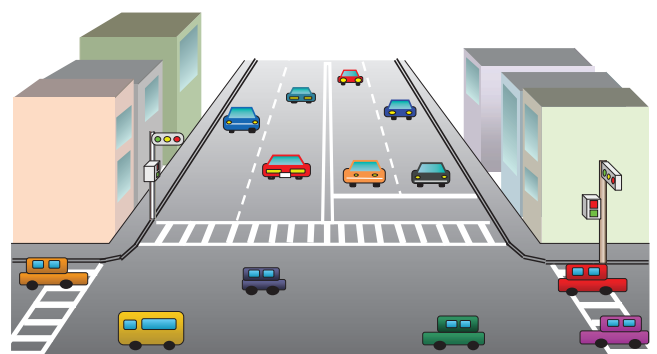
一般工法による施工



— これまでの施工における問題点 —

- ① 地上から地盤改良を行うため、交通渋滞や、振動・騒音など、周辺環境に多大な悪影響を与える。
- ② 掘進機外へ人が出て、火気（ガス切断器）を使い支障物を切断するため、地山の崩壊や、メタンガス（可燃性ガス）の爆発など、作業員の安全確保に問題がある。

DO-Jet工法による施工



— 本工法による改善点 —

- ① 地上からの作業を必要とせず、掘進機から地盤改良を行うため、周辺環境に影響を与えない。
- ② 掘進機から支障物を切断するため、安全で高効率の施工が可能になる。

待望の**小口径タイプ**が誕生

● 支障物があるか、ないか分からない!!

- ・ 支障物の調査ができない!
- ・ 構造物が古くて仮設物の資料がない!
- ・ 支障物に遭遇した場合に地上から対応できない!

● 支障物が気になるが、コストは抑えたい

“「DO-Jet工法」支障物保険方式”

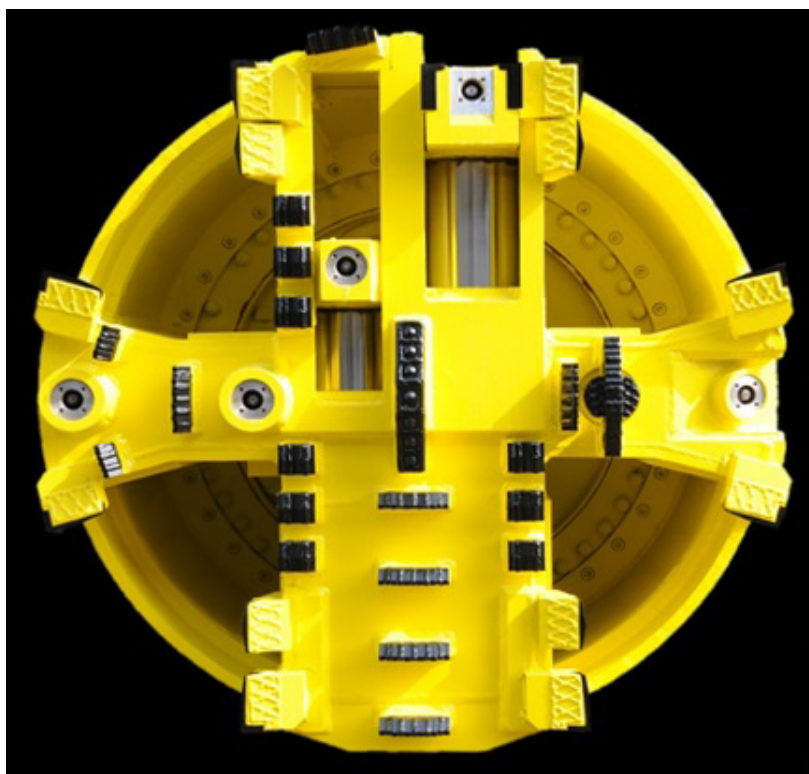
最小限の
コスト

- 支障物がなかった場合
⇒ 通常泥濃推進工法にて施工
- 支障物があった場合
⇒ 通常泥濃推進工法+「DO-Jet工法」にて施工

保険方式とは・・・

調査段階で支障物があるか、ないか分からない時の対応として、予めDO-Jet工法の仕様を装着して通常泥濃推進工法で施工し、装着に伴うコストは、メンテナンス費用など必要最小限にとどめ、支障物があった場合、設計変更にて対応する方式

- $\phi 800\text{mm}$, $\phi 900\text{mm}$ の支障物切断は、条件付きとなりますのでご相談ください。
- 想定される支障物によっては条件が異なる場合があります。ご相談ください。



$\phi 1,200\text{mm}$ DO-Jet推進機



噴射確認

DO-Jet 工法[®] DO-Jet Method[®]
DO-Jet 工法
Double Object-Jet Method

DO-Jet工法研究会

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-7 常盤ビル5F
電話 03-3278-6778 FAX 03-3517-5698
<https://www.do-jet-kouhou.com>

ホームページ



DO-Jet工法及びDO-Jet Methodは、東京都下水道サービス株式会社の登録商標です。